

第13回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和4年10月25日(火) 14時から
- 2 会場 糸魚川市役所 201・202会議室
- 3 出席委員
- | | |
|---------|-------|
| 教 育 長 | 齋藤 修一 |
| 教育長職務代理 | 谷口 一之 |
| 委 員 | 塚田 京子 |
| 委 員 | 齋藤 里沙 |
| 委 員 | 山本 修 |
- 4 委員以外の出席者
- | | | | | | |
|--------|--------------|------------|--|--|--|
| 教育次長 | 磯野 豊 | | | | |
| こども課 | 課 長 嶋田 猛 | 課長補佐 室橋 淳次 | | | |
| | 係 長 関澤 仁 | | | | |
| こども教育課 | 課 長 小野 聡 | 参 事 古川 勝哉 | | | |
| | 課長補佐 川原 隆行 | 係 長 植木 靖英 | | | |
| 生涯学習課 | 課長補佐 伊藤 伸一 | | | | |
| 文化振興課 | 課 長 山本喜八郎 | 課長補佐 榎 正喜 | | | |
| 書記 | こども課主査 上原 奈穂 | | | | |
- 5 報 告
- 報告第 30号 通学路における合同点検安全対策検討結果について
- 報告第 31号 各課・機関所管事項について
- 6 付議案件
- 議案第 53号 糸魚川市教育委員会事務局職員を糸魚川市職員に併任することへの同意について
- 議案第 54号 教育委員会職員の人事措置について
- 7 会議録署名委員の指名 3番 齋藤委員
- 8 傍聴者 1人

教育長

令和4年第13回教育委員会定例会を開会する。

<p>こども教育課長補佐 教育長 塚田委員</p>	<p>報告第30号通学路における合同点検安全対策検討結果について、事務局の説明を求める。 (資料に基づき説明) 今ほどの説明について、ご質疑はないか。 路面表示は優先的に対策するとのことだが、今年度中に対策できるか。</p>
<p>こども教育課長補佐 塚田委員 齋藤委員 こども教育課長補佐 齋藤委員</p>	<p>予算の関係上、優先順位をつけて実施していく。実施できない箇所は引き続き確認をしていく。 対策が必要だと結果が出ている箇所は早急をお願いしたい。 点検箇所や危険箇所は、地域住民には伝わっているか。 結果は学校に伝え、いろいろな機会でも保護者へ伝えてもらう。 地域住民にここが危険箇所、点検箇所だという認識が知れ渡らないと注意がなされない。地域へ直接働きかけてもらいたい。</p>
<p>こども教育課長補佐 齋藤委員</p>	<p>ホームページで公表している。今後は学校にある危険マップに記載してもらい、子どもだけではなく、保護者にも説明する機会を検討したい。 PTA に属していない家庭も多くある。区長会、公民館や回覧板を利用して点検箇所を周知してもらいたい。</p>
<p>山本委員 教育長 委員 教育長</p>	<p>コミュニティスクールの会議で、話題にしてみてもどうか。 ほかにご質疑はないか。 (「なし」の声あり。) 質疑なしと認め、報告第31号各課機関所管事項について、事務局の説明を求める。</p>
<p>こども課 所管事項報告 こども教育課 所管事項報告 生涯学習課 所管事項報告 文化振興課 所管事項報告 図書館 所管事項報告 博物館 所管事項報告 市民会館 所管事項報告</p>	
<p>教育長 山本委員</p>	<p>今ほどの説明について、ご質疑はないか。 文化祭や市の音楽発表会が3年ぶりに開催されるが、コロナの全数把握をしなくなったことにより、学校や保育園、幼稚園の対応に変化はあるか。例えば、給食や教育活動で消毒方法が緩和されているなど、あれば教えてほしい。</p>
<p>こども課長補佐</p>	<p>園関係は全数把握をしなくなった以降も対応は変わっていない。陽性者の報告があれば、濃厚接触者の特定、消毒作業も以前と変わらず行っている。ただ、公表は休園の場合のみとした。園内に陽性</p>

こども教育課参事	<p>者等が出た場合は園メールで注意喚起、周知をしている。</p> <p>小中学校関係は県の感染症発生状況システムに、インフルエンザを始めとする感染症の状況を各学校から毎朝報告している。そのシステムを教育委員会でも確認し、市内の感染状況を毎日把握している。感染予防対策はこれまでと同様に行い、十分な距離が取れる場合に限り、各学校で工夫して教育活動を行っている。</p>
山本委員 こども教育課参事	<p>学校長の判断で実施されるのか。</p> <p>文科省から指針が出ているが、細かいところは、学校長の判断で実施されている。</p>
谷口委員	<p>世界津波の日高校生サミットが新潟市で開催されたが、市内の高校生が出席したのか。</p>
教育長	<p>私が出席した。市内の生徒が出席したのではなく、駅北大火を選んだ生徒が糸魚川に来て、学んで行った。ほかには中越地震で長岡や小千谷を選んだ生徒が地震の災害、その後の復旧、地震対策について学んだことをポスターセッション形式で発表していた。それが世界各国の高校生と繋がり、各国にしながらその取組を共有できる環境が作られていて、非常に積極的な発表だった。司会進行、ポスターセッションは全て英語で行われ、イヤホンで日本語の同時通訳が聴けた。次世代を担う高校生が防災意識を持ち、今後の生き方に生かしてもらいたいという趣旨で開催されている。</p>
谷口委員	<p>防災教育は小さいころから知識を持ったり、経験したりすることが必要だと思う。今後も機会をとらえて進めてもらいたい。</p>
塚田委員	<p>キャリアフェスティバルは、企業のことだけではなく、自分の生き方を語っている方もいて、どんどん良くなっている印象を受けた。昨年とは違う業種もあり、例えば漫画家は地元でいながらそういった職業を続けていけることがすごく魅力的だと思った。糸魚川といえば海と山があるので、今回はぜひ漁協の方にも、働くことの素晴らしさや、仕事を選んだ理由を聞けたらいい。</p> <p>地域でできる、地域で働く大人という視点では、仕事だけではなく、ボランティア活動をしている方のブースがあれば、自分らしく生きていくことを知る場所になるのではないかな。また、先生を目指す子どもたちが少なくなっているので、教職員ブースがあるといい。</p>
こども課長	<p>自然を活かした産業では第一次産業の農林業者に出ていただいた。水産業では漁師や水産物の加工業者がいて、今後は声掛けをしたい。また、仕事だけではなく、自分の余暇を自分らしく生きていくライフスタイルも知ってもらいたいので、ボランティアブースも検討したい。教職員ブースも前向きに検討したい。</p>
山本委員	<p>なぜ働くのか、働くことのやりがい、苦勞していることもある。でもこうやって自分の夢を叶えたということをお話してもらっていい</p>

てとても良かった。キャリア教育は生き方教育で、ボランティアブースもいいと思う。年々充実していて、だんだんと実を結ぶと期待をしている。

塚田委員

中学3年生が高校を選択する時期だが、オープンキャンパスや説明会で、高校魅力化コーディネーターが中学生に向けて話す場や活動の紹介をする場はあるか。

こども課長補佐

市は3校を平等に支援するため、コーディネーターが特定の高校に偏って紹介をするわけにはいかない。高校紹介は高校がやることだと考える。

塚田委員

例えば、糸魚川高校のオープンキャンパスに来た生徒に自習室を見せ、ここでみんなで勉強ができる。悩みがあれば、こういう人が相談に乗ってくれるということを伝えてもらいたい。コーディネーターの良さを活かして、広めてほしい。

こども課管理係長

10月に3人目が配置となり、糸魚川高校が先行していた部分があり、糸魚川高校を中心に支援している。この半年で押上プロジェクトがあったが、今後もいろいろなプロジェクトを実施したい。中学生向けのものとして、3校の生徒が高校生活で将来に向けて、学んでいることを中学生にプレゼンをする場を考えている。高校生と中学生の繋がりも今後出てくる。

齋藤委員

図書館の館内イベントが盛況だったが、今後も民間のアイデアを柔軟に取り入れることで、ひとつの居場所になると期待している。コロナウイルスの影響で、長居してもらいたくない気持ちも分かるが、青空図書館をやってみるとか、いい本もいい職員もいる。柔軟なアイデアで図書館の魅力をもっと高めてもらいたい。

生涯学習課長補佐

窓口業務の受託業者は図書館業務に精通していて、今後はクリスマスのイベントも考えている。受託業者と協力しながら、積極的に関わっていきたい。糸魚川市にとってどんな図書館がいいのか、今後あり方を検討していく。みなさんからも意見をいただきたい。

谷口委員

駅伝が素晴らしい結果を残した。糸魚川には早川や能生など地域の駅伝があり、それを見て育った子どもがいる。企業チームや、自衛隊員が出ている地域が強いが、市民ランナーでも戦える。中学校の陸上部は多くの部員がいるが、地元高校の陸上部員が少なくリレーに出られない。続けて繋がってほしい。相撲も素晴らしい結果を残した。みんなで応援していききたい。

私事だが、ソフトボール大会に出場した。新しいメンバーも加わり、チームには59歳から85歳までいる。今後も無理のない範囲で続けたい。

山本委員

能生の歴史民俗資料館の活用に関する意見交換会が開催されているが、どのような意見が出され、どのように活用していくのか。

文化振興課長

国指定を目指せないか。修繕をするのなら資料館以外としても活

用できないか。資料館として活用するのなら白山神社と連携し、一体的に学習をする場にならないか。資料館の管理を現在はシルバー人材センターに委託しているが、来られた方に説明できるようにならないか。そういった意見が出た。それらを踏まえ、今後の活用方法を検討していく。

また、地区には、屋根の修繕を報告し、地元区長や連合区長会を通じて活用に関する意見をもらえるよう依頼した。

山本委員

以前、小学校の社会科で、昔の人たちの暮らしという単元があり、その学習のために見学場所に適しているところはないかと聞かれた。能生の歴史民俗資料館は建物が残っていてとてもいい。根知の塩の道資料館は展示物として歩荷や昔の服がある。能生の歴史民俗資料館もそういった活用ができるのではないか。

谷口委員

私も3学年を担当していたときに見学したが、説明は自分で行った。そういった面では白山神社と一体的にまだまだ活用ができる。

教育長

ほかにご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、付議案件に入る。

ここで付議案件の進行についてお諮りする。議案第54号は人事措置に係る案件であるために、非公開としたい。これにご異議はないか。

委員

(「異議なし」の声あり。)

教育長

異議なしと認め、議案第54号は非公開とする。会議日程の順序を入れ替え、次回教育委員会定例会開催日予定、その他の後としたいが、これにご異議はないか。

委員

(「異議なし」の声あり。)

教育長

異議なしと認め、今ほどの決定のとおり進める。

議案第53号糸魚川市教育委員会事務局職員を糸魚川市職員に併任することへの同意について、事務局から説明を求める。

教育次長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

ご質疑なしと認め、採択に入る。

議案第53号について、ご異議はないか。

委員

(「異議なし」の声あり。)

教育長

異議なしと認め、承認する。

原案のとおり承認

教育次長

次回教育委員会定例会開催

令和4年11月22日(火) 14時から

その他

文化振興課長

ヒスイが県の石に指定されることを記念して式典が開催される。
日時は11月4日金曜日、10時半から、会場は青海総合文化会館き
ららホールで行う。記念講演会もあり、ぜひ出席いただきたい。

教育長

これより非公開とする。

議案第54号 原案のとおり承認

教育長

これより非公開を解く。
これで、令和4年第13回教育委員会定例会を閉会する。

15:30 終了